

## 食物栄養専攻（ディプロマポリシー）

### 1. 教養・倫理観

#### ・ 科学的思考力

物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。

#### ・ 自律性

心身の健康の保持増進に関する基礎知識を身につけ、自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。

### 2. 問題解決総合力

#### ・ 科学的思考力の活用

栄養士として必要な知識や技術を活用し、心身の健康保持や食生活に関する課題に対し、原因を科学的に分析し、社会資源を活用する等、多元的な視点から最善策を導き出すことができる。

#### ・ コミュニケーション力

多様性・協働性を重んじ、自分の思いや考えを的確に表現・発信するとともに、チームワークを大切にし、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。

### 3. 専門基礎力

#### ・ 専門的知識・技術の理解

栄養士として必要な専門的知識・技術を理解し、様々な立場の人々に応じた献立および食事形態を提案することができる。

#### ・ 専門的知識・技術の強化・発展

講義等で得られた専門知識・技術を、演習・実習・実験をとおしてさらに深く理解し、栄養士として、必要な専門力を説明することができる。

### 4. 実践応用力

#### ・ 専門的知識・技術の活用

学外実習において、習得した知識・技術を応用して、集団や個人の栄養に関する支援ができると共に臨機応変に行動することができる。

#### ・ 社会的貢献性

個々人に応じた健康の保持増進の理解と応用できる力を活用して、健康社会の発展に寄与する行動をとることができる。